

安全に
使うための

おつじとう 乙字湯の確認票

この漢方薬を服用する人についての質問です。

以前に乙字湯を服用して、気持ちが悪くなったりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ等）を起こしたりしたことがありますか？

いいえ

はい

服用できません

- 今の症状、またはその他の病気で医師の治療を受けていますか？
- 日常的に服用している薬や健康食品、サプリメントがありますか？
- 妊娠中、または妊娠している可能性がありますか？
- 現在、授乳中ですか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

薬剤師または登録販売者に相談してください

- 以前に**大黄を含む漢方薬****を服用して、激しい腹痛を伴う下痢やひどい腹痛を起こしたことがありますか？
- 以前に漢方薬を服用して、むくみを感じたことがありますか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

次のような症状がありますか？

- 痔（いぼ痔、きれ痔など）
- 軽度の脱肛
- 便秘

1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

服用はおすすめできません*

- 下痢をしやすいですか？
- 心臓に不具合はありますか？
- 腎臓に不具合はありますか？
- 血圧はひどく高いですか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

平素の体力はひどく虚弱ですか？

やや虚弱／中等度以上

ひどく虚弱

普段から便がかたく、便秘がちですか？

はい

いいえ

この漢方薬はあなたの体質・症状に合わないかもしれませんが、あなたの意思により服用可能です



服用できます

* 最終的な判断は、薬剤師または登録販売者に相談して決めてください

** 該当する商品がわからない場合は、薬剤師または登録販売者にお尋ねください

きれ痔、便秘に使用する場合には、5～6日くらい服用しても症状がよくなる時は、医師、薬剤師、または登録販売者に相談してください。

本剤を服用中は他の下剤（瀉下剤）は服用しないでください。

効能・効果

体力中等度以上で、大便秘結、便秘傾向のあるものの次の諸症：痔核（いぼ痔）、きれ痔、便秘、軽度の脱肛

日本漢方生薬製剤協会による主な商品例

一元乃錠剤乙字湯	一元製薬	乙字湯「タキザワ」	タキザワ漢方廠
ウチダの天地通暢	ウチダ和漢薬	オツジンス「コタロー」（乙字湯エキス錠）	小太郎漢方製薬
乙字湯Aエキス細粒「分包」三和生薬	三和生薬	JPS乙字湯エキス錠N	ジェーピーエス製薬
乙字湯エキス顆粒KM	カーヤ	ツムラ漢方乙字湯エキス顆粒	ツムラ
乙字湯エキス〔細粒〕3	松浦薬業	トチモトの乙字湯	栃本天海堂
乙字湯エキス錠〔大峰〕	大峰堂薬品工業	ブリザ漢方内服薬	大正製薬
乙字湯エキス錠クラシエ	クラシエ薬品	モリ タイゼン	大杉製薬

使用上の注意

してはいけないこと

- 次の人は服用しないこと
生後3ヵ月未満の乳児。
- 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬（下剤）
- 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること

相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦または妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。 むくみ
 - 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

処方構成生薬

当帰、柴胡、黄芩、甘草、升麻、大黄

乙字湯の体力分類に対する適応度（服用される方の普通の体力でお考えください）

I 体力虚弱	II やや虚弱	III 体力中等度	IV 比較的体力がある	V 体力充実
0	1	2	2	1

2：最適、1：適応可能、0：原則としては適さない

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
下痢
- 1ヵ月位（きれ痔、便秘に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。